

【フィーロンティーロ/貴族後編】

▼爵位の付け方

王様が『別の世界の神様』で長寿だった為、この地を去るまでずっと子を成せずに何百年、何千年と国を統治していた。その為、如何に王に貢献した一族か、というので、爵位が決まっている。(王様に貢献してきた貴族に去る前に土地分け与えた
＝領地を納めている範囲、もしくは小さくても栄えてる領地が多い
＝爵位が高い…というのが法則)また現在は王はいないが、その爵位は引き継がれている。実質その領地においては大なり小なり、王のようなポジション。

↑上下↓

【公爵】ゲヌイン家/アイアズマ家
ブルモア家/ウェルテクス家/ルーペス家
【侯爵】トントウルス家
【伯爵】アステロイデア家/サブルム家
【子爵】
【男爵】ニクス家
【準男爵】トリプディオア家
【士爵】

単品っ子の爵メモ

帝(男爵)/初陽(子爵)/静夜(子爵)

▼ゲヌイン家(gwenwyn)

虫の領地の殆どを統べる一族。公爵家。一夫多妻制の一族の為、権力が大きければ大きい程、嫁を娶る数が一般的には多い。(だが本人の希望で複数の妻を迎える事が出来るだけで、取らなくても可)その為、跡取り問題で兄弟や妻達の関係がピリピリしており、いつでも我が子を跡取りにする為に殺す機会を狙っている。ただ、早急に『跡取りとしての権利の放棄』という事も選ぶ事が出来、それを選んだものは財産を殆ど貰えない代わりに、命を守る事ができる。

▼アイアズマ家(agiasma)

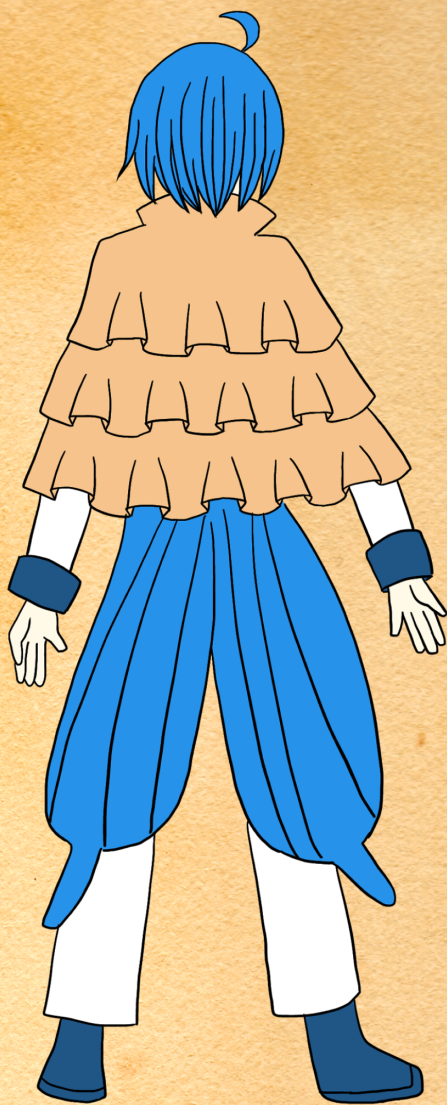
陸の部分の水の領地の殆どを統べる一族。公爵家。元々は一番『王に忠誠を誓っていた騎士の一族』。誇り高く、男女問わずに剣技を学ぶのが特徴である。ただ跡を継ぐのは『男』だけで、分家や遠縁であっても『女』が継ぐのはイレギュラーである。

▼ブルモア家(pulmo)

水辺の部分の領地を殆ど統べる一族。公爵家。魔法で構築されたあまり狙われる事のない特殊な領地な事もあり、平和で温厚な性格のものが多く。男尊女卑の傾向が、より他の一族より強……だったが、今ではそれも薄まっている。

▼アステロイデア家(Asteroidea)

ブルモア家の傘下の伯爵家。ブルモア家も平和主義だか、アステロイデア家も平和主義である。ただこの一族、偏食家な事がそこそこ有名で、硬い食べ物を求めている様々な地域を旅するのが趣味である。



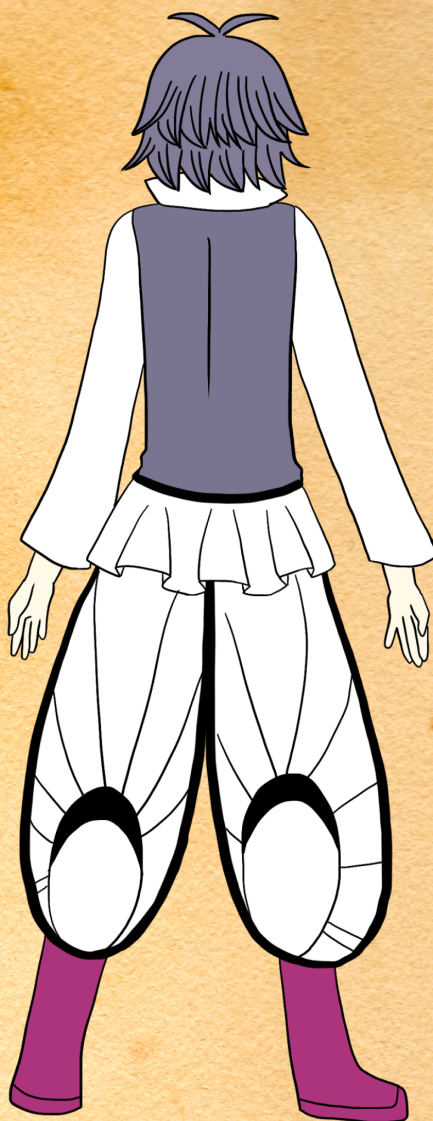
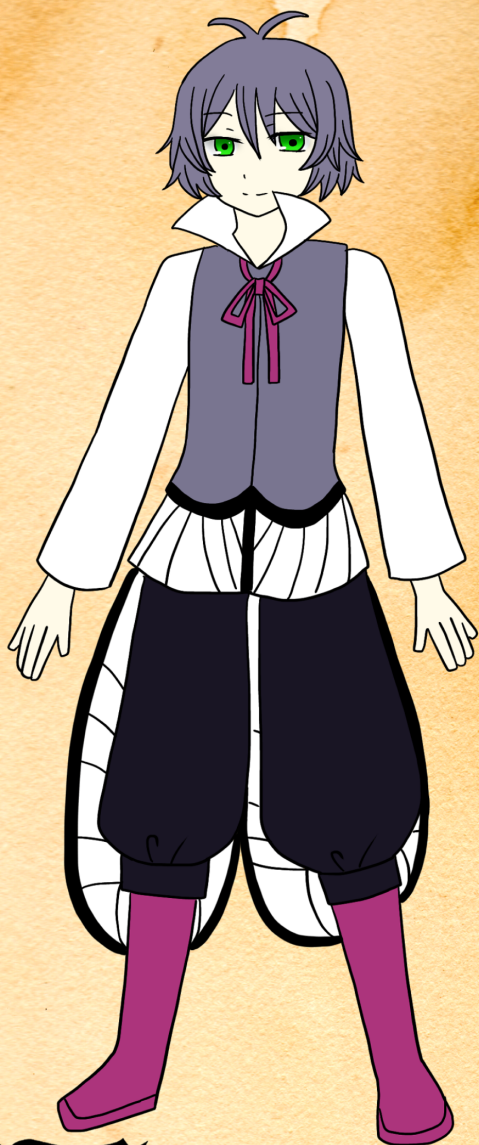
ジギタリス Digitalis

原型＝★モルフォン♂
年齢＝26
身長＝182cm
一人称＝私/俺
二人称＝君/お前

細身で何処か冷たい印象の子。他者を寄せ付けない
雰囲気を持ち、己の目的の為なら手段を選ばない。
利益主義で独善的ではあるが、絶対的信頼がある者の
意見は取り入れる。敵味方の差は激しい。
基本無口なので、あまり話をしないが、兄弟の事は大切に思っている。
昔から毒を飲まされてきたからか毒が効かない体。
同時に薬も効かない為、滅多な事では風邪をひけないと、
体調には気をつけている。
いろいろな課題をクリアし、今では立派にその領土を収めて居る。

「……何か用か？」

「愚問だな。“私こそが当主に相応しい”と
自らが信じぬのなら、誰が認めてくれるのだ？」



リシン Ricin

原型＝★バタフリー♂
 年齢＝24
 身長＝181cm
 一人称＝俺
 二人称＝君

貴族の家の次男坊。腹違いの兄弟が何人か居る。
 端から見ればいつも本を読んでいるし、
 他人とそんなに話さないのが大人しく見えるが、実は口は悪い。
 一度大切に思った者を見捨てる事が出来ないタイプの子で、
 責任感強い子だが、そういう事は一切引き受けたがらない。
 先読みの才能と心理戦、はったりが上手い。
 株でそれなりにがっぼがっぼ稼いでいるし、
 それを担保に店を立てて働くのも良いかもしれないと思っている。
 パーティ等人が集まる所が苦手な為、行われる時は
 いつも庭の木で昼寝をする。クラウドとは
 そこで会って以来、友人として仲が良い。

「パーティなんて、母さんを見下す目で見る奴ばかりだろ？
 暮らしてく以上の有り余った金って、そんなに大切か??」
 (幼少期を普通の子達と過ごして来た為、お金の価値観が普通)
 「いえいえ、お気になさらずに。美しいお嬢様には幸運をお祈りします。」
 (と言って手の甲にキスをする。表っ面は良い。)